

番外編② 日本式教育の導入と

「Tokkatsu」

*現在、エジプトには、全国に 55 校のエジプト日本学校(EJS)があり、約 1.6 万人の子どもたちが日直、掃除、学級会、学校行事等、特別活動を中心とした日本式教育を実践しているそうです。エジプト社会に適した活動に形を変えて導入された日本式教育は、日本の特別活動の略称になぞらえて“Tokkatsu”と呼ばれ、日直、学級会、学級指導に加えて、朝学習や手洗い・歯磨きなどの活動が EJS を含む全国のエジプトの学校で教えられています(JICA, 2025)。

*2016 年 2 月、エジプトのエル=シーシ大統領は日本を訪れた際、衆議院議場で演説を行いました。大統領は日本国民が「希望と勤労の精神」、「秩序と勤勉さ」を持つと称賛し、それらの価値は「イスラムの教えとその原則を反映し、かつ、それを現実に具体化している」と述べました。大統領は多くの日本人がこれらの気質を養うことができた理由は、日本の教育にあると考えたと述べています。

*実は、エジプトの教育界にとって日本式教育に対する期待や尊敬は「非常に」と表現して良いほどに高いものがあります。2025/26 年度の小学校 4 年生前期の社会科の教科書には、「エジプトの資源は人…真の財産」という単元があるのですが、ここでは登場人物たちが将来のエジプトにとって教育がいかに重要かを話し合う場面があります。この中で、彼らはエジプトが天然資源とともに人材の豊かな土地であるという話のあとに日本について触れ、「日本は天然資源がないにもかかわらず教育によって世界で最も先進的な国の一つになった」と話し合っているのです。

*2016 年にエジプト政府と日本政府がパートナーシップを締結したことを契機として、エジプトでは日本式教育の本格的な移転が始まりました。その後も、エジプトと日本の教育分野での協力関係は、さまざまな分野に波及して現在も活発に続いています。例えば福井大学では、エジプト人教員の研修受け入れは 2024 年 12 月時点で第 13 団まで続いており、特別活動をはじめ日本の学校教育で実践されている指導方法を伝えているということです(淵本, 2025)

*また、民間企業のエジプトへの進出もみられます。例えば、日本で学習塾および教育関連事業を手掛ける民間企業がエジプト教育省と数学・ICT 教育分野の教科書共同開発を行う協力覚書(MOU)を締結したことが現地で話題になっています。日本の教育協力がエジプトのカリキュラム開発に関わることは、現地メディアでも連日のように報じられています。ある新聞は上述の教科書開発の話題にふれ、「これは両国間の協力の歴史において前例のない取り組み」とし、「日本の教育制度は、内容を簡略化することで強固な数学の基礎を構築することに重点を置いており、その有効性は世界的に認められている」として、エジプトにおける教材開発の一層の進展に高い期待を寄せています(Youm 7 オンライン版, 2025 年 8 月 11 日付)

- JICA 人間開発部(2025)「エジプトにおける特別活動を中心とした日本式教育の取り組みについて」
- 淵本幸嗣(2025)「第 13 団エジプト教員研修の省察」『教師教育研究』第 17 巻